

介護のいまをろう④

高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して、元気に、暮らし続けることができるまちづくりを進めるために

自分らしい生活を送るために、みんなもAさん・Bさんに続け！！

【ケース1：Aさんの場合】

骨折前に始めたボランティアを続けることで元気に回復。介護度は1年で変わり、生活も自宅で続けられています。

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
年齢	65	66	67	68	69	70
治療の経過	2型糖尿病					
	脂質異常症					
	甲状腺機能低下症			5月入院		7月～10月入院
	大腿骨折(骨粗鬆症の薬の追加)					
介護度					要支援2	要支援1
介護保険のサービス					住宅改修で手すりをつける 訪問型サービスでヘルパーを頼む	
生活の状況	仕事をやめた後、食事は炭水化物が多くなっていた。	食事指導を受けた。	食事も3食たべて肉や野菜も食べるようにした。	ボランティアを始めた。	1人で起き上がったりが大変になった。歩けない…。	ボランティアを続けて、楽しい。起き上がりはまだ少し大変だけど自分で歩けるようになってきた。

POINT
糖尿病の薬と食事を変えてコントロールできていますね

POINT
自分の生きがい・楽しみが原動力ですね

【ケース2：Bさんの場合】

認知症の疑いで通院中。閉じこもりがちになり、筋力は低下し、要支援1と認定。その中で、地域の人の助けと趣味で自宅での生活を続けられています。

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
年齢	65	66	67	68
治療の経過	平成25年頃「認知症の疑い」と診断を受ける	認知症の経過観察のため、通院を継続している		
介護度			要支援1	要支援1
介護保険のサービス		住宅改修で手すりをつける		
生活の状況	一人暮らしになった。	外出が減り、物忘れの症状も見られるようになった。	隣の人が、度々訪問してくれる。趣味の踊りの集まりに参加し続けている。転びやすくなった。	週2回、自宅で趣味の集まりを続けている。友人との外出ができるようになった。

POINT
地域の人の声かけ、見守りも大事な支えに！

POINT
趣味の踊りは筋力維持に役立っていますね

福祉